

多度大神宮
一目連大神

大々御神樂畧記

伊藤文庫
20
2

神代卷
止四書

度當宮ふ了大々御神樂興行ふ故由といへ時神代

館むり。高天原み了。建速須佐之男命。姉神ふては

まは。天照大御神ふ對奉て惡態轉あるふ因了。大御神

天石屋戸を閉了。隠坐せし時。天地皆常闇と成りては

く晝夜に分なく。荒振神時を得て。萬の妖悉發す。是を

以て。八百萬神天安之河原ふ。神集集て。思金神り思え

せ了。常夜の長鳴鳥。庭鳥を集て鳴せ。石凝姥命ふ。日像

鏡。當國內官を鑄らせ。長白羽命ふ。麻を植了。青和幣を

為らせ。天日鷲命。津咋見命了。穀の本と。是本綿植了

白和幣と作らせ。天羽槌雄命了。文布を織せ。天棚機姫

神代卷

命カムミコ。神衣ニギヤクの和衣ニギヤクと織オリセ。櫛クシ明玉アカルタマ命ミコ。八坂ヤサカ瓊ニ五百イホ箇ツノ御ミ。
統スレノタマ玉タマと作ツクラセ。手タ置オキ帆ホ買オヒ命ミコ。彦ヒコ狹サシ知シ命ミコ也。瑞ミツ殿ミツノミヤ兼ミ御ミ笠カサ弁ホコ。
盾タテと作ツクラセ。天アメ目メ一ヒト箇ツノ命ミコ。是ミ天アメ照テ大オホ御ミ。神カミの御ミ子コ。本ホ宮ミヤ祭マツル。
則スレバ一ヒト目メ連ツラ社ヤの祭マツル神カミふまへ。雑クサ刀ヤ谷ヤ及ナ鐵テ鐸ツ。古コ製ツクの作ツク。
て。神カミ主ヌシ小コ串クシ家ヤの遠トホ祖ソコなまへ。天アメ香カ久ク山ヤマの五イ百ホ箇ツノ真マ賢サカキ木キ。
ら勢セとぬ物モノ。既スレバ備イハ了ハけき勢セ。天アメ香カ久ク山ヤマの五イ百ホ箇ツノ真マ賢サカキ木キ。
と根ネこども掘ヒ了ハ。上ホ枝エ小コ玉タマと取トリけけ。中ナカ枝エ小コ鏡カガミ取トリの
け。下シ枝エ小コ青アヲ和ニギ幣ヒ白シラ起ニ幣ヒと。取トリき。こゝ種タネの種タネ。
太フト玉タマ命ミコ。太フト御ミ幣ヒと捧サガ持モチて。天アメ兒コ屋ヤ根ネ命ミコ。太フト祝イハ詞コト以モて禱ネガひ。
一ヒト是ミ神カミ前マヘゆて祝イハひ。又マタ天アメ宇ウ受ズ賣メ命ミコを真マ辟サキ葛カヅラを鬘カヅラと。蘿ヒカサ。
葛カヅラと手タ繼スと。小コ竹タケ葉ハと手タ草クサと結ムスて着キ鐸ツ之ノ声コエととち。
石イシ屋ヤ戸ド比ヒ前マヘ小コ誓イカガヒ槽サ伏フス了ハ踏フミやうろこ。庭ニハ火ヒと焼ヤク了ハ神カミ。
懸カケして。俳ウタ優ウタとた。諸モロ神カミも共トモ小コ歌ウタひ樂ガクび咲ハいて大オホ御ミ神カミ。
の御ミ心ココロと和ニギさ免ニ奉ホウけれ勢セ。是ミ御ミ神カミ樂ガク所トコロ稍シカ石イシ屋ヤ戸ドより
出デ了ハ臨ミ坐マを時トキ。天アメ手タ丸マ男ヲ命ミコ。御ミ手タとはさ出デ奉ホウて新ニ殿ノミヤを
遷ウツリ奉ホウ了ハ。太フト玉タマ命ミコ。日ヒ御ミ綱ツナと石イシ屋ヤ戸ド及ナ新ニ殿ノミヤをひき渡ワタした。
是ミ注ツ連ツラ繩ヒモ也。此ココ時トキ。天アメ地チ自オノ照ミ明アりけき勢セ。諸モロ神カミ共トモ小コ。あ
おと。是ミお八ヤチ百ヒャク萬マン神カミ。共トモ小コ識シ了ハ。速ス須ス佐サ之ノ男ヲ命ミコの罪ツミと贖カガ。
へ賜タマふして。千チ座ザ置キ戸ドと負オシせ。亦モト鬚ヒゲとた。及ナ手タ足タの尻シ。
と披ヒせて被カ物モノとして。そゝ罪ツミを解トク除ヘせ神カミ逐ユふ逐ユきと。



石イシ屋ヤ戸ド比ヒ前マヘ小コ誓イカガヒ槽サ伏フス了ハ踏フミやうろこ。庭ニハ火ヒと焼ヤク了ハ神カミ。
懸カケして。俳ウタ優ウタとた。諸モロ神カミも共トモ小コ歌ウタひ樂ガクび咲ハいて大オホ御ミ神カミ。
の御ミ心ココロと和ニギさ免ニ奉ホウけれ勢セ。是ミ御ミ神カミ樂ガク所トコロ稍シカ石イシ屋ヤ戸ドより
出デ了ハ臨ミ坐マを時トキ。天アメ手タ丸マ男ヲ命ミコ。御ミ手タとはさ出デ奉ホウて新ニ殿ノミヤを
遷ウツリ奉ホウ了ハ。太フト玉タマ命ミコ。日ヒ御ミ綱ツナと石イシ屋ヤ戸ド及ナ新ニ殿ノミヤをひき渡ワタした。
是ミ注ツ連ツラ繩ヒモ也。此ココ時トキ。天アメ地チ自オノ照ミ明アりけき勢セ。諸モロ神カミ共トモ小コ。あ
おと。是ミお八ヤチ百ヒャク萬マン神カミ。共トモ小コ識シ了ハ。速ス須ス佐サ之ノ男ヲ命ミコの罪ツミと贖カガ。
へ賜タマふして。千チ座ザ置キ戸ドと負オシせ。亦モト鬚ヒゲとた。及ナ手タ足タの尻シ。
と披ヒせて被カ物モノとして。そゝ罪ツミを解トク除ヘせ神カミ逐ユふ逐ユきと。

の解除の徳有り因て善神と成せ給ひ出雲國了。天降至
て八岐大蛇を斬て。其尾の中より靈劍を得て薙劍
土用殿熱田本宮大御神を奉り。今ふ於て同國須賀とい
ふ地を鎮坐在。世に福神と申奉る大國主命の同國社
れり。夏代主命同國日御崎を。これ御子孫なり。是より
先。伊弉那岐命日向之橘小門の檍原あり。黄泉國の穢
と楔被て清またり賜ひける。因て天照大御神月讀
命速須佐之男命の三貴子生ました。此二條被上
件は故由り因て後の世に成り。何の神あり。御
心と和さ乞奉る。御神樂を奏し。萬の汚穢悪病を

解除公儀み知さざる罪科を贖ふる。被物を出し。襖
被て行ひ清たりて。神の冥助を得る事ある。大に御
神樂ハ。上りいへる御神樂の趣意と本として。楔被の
行事と兼たる。嚴重神事として。神慮と和さぬ。汚穢惡
病と解除清免。過犯せし罪科を贖拂て。不思議の神徳
と蒙り。愛甚尊き行事あり。日月清明。風雨順時。天下泰
平。實祚延長。武運長久。五穀豊熟。家業繁昌。海上安全。家
内和合。無事延命。子孫蕃榮。火災。氷害。霹靂。地震。盜難。劔
難。病難等の解除と祈奉る。此の行事及び事者べ
ららび。殊に當社の大神ハ御神樂子縁ある御事ある

傍。遠近の秋をす。た。そは信心の助カリ因テ。上リ
らげざる條と祈禱の爲。永代毎年アサヒ月朔日の朝日
此豊榮登トモカサ。大御神等の大御前オホミカドに於テ。丹誠ニカキマコトの心と抽
大御神樂と執行トリオウチふ事なれ。人々當る早朝よ。參
詣あり。昔諸願成就の祈念と添テ。名神の靈驗を
蒙テ奉るへさとのかり

伊勢國素名郡多度名神大杜神主

從五位下肥後守齋部宿祢重郷
從五位下伊豫守藤原朝臣直準



